

# 令和4年 第2回 川口市教育委員会定例会

日 時 令和4年2月3日(木)

午後1時30分

場 所 ワークファンルーム会議室1・2

## 日 程

### 1 開 会

### 2 点 呼

### 3 前回会議録の承認

- (1) 第1回川口市教育委員会定例会会議録

### 4 教育長報告

- (1) 2月行事予定について  
(2) 12月市議会定例会の概要について  
(3) 川口市立学校におけるいじめ問題の現状について

— 1  
— 別添1  
— 当日1 (秘)

### 5 協議事項

- (1) 卒業(園)式における告辞等について

— 当日2 (秘)

### 6 議 事

- 議案第 6号 3月市議会に係る議案の原案決定について【補正予算】  
議案第 7号 3月市議会に係る議案の原案決定について【当初予算】  
議案第 8号 職員の人事について  
議案第 9号 教職員の人事について  
議案第10号 教職員の人事について

— 当日3 (秘)  
— 当日4 (秘)  
— 当日5 (秘)  
— 当日6 (秘)  
— 当日7 (秘)

### 7 その他

### 8 閉 会

教育長報告（1）

令和4年 2月 行事予定表

日	曜日	教育総務課	生涯学習課	文化推進室	文化財課	中央図書館	日	曜日
1	火					横曽根図書館図書特別整理期間(休館)(～4日)	1	火
2	水		市民大学「子育て支援講座」④ (10:00 横曽根公民館) 市民大学「科学館ガイドツアー」②(14:00 科学館)				2	水
3	木	教育委員会定例会 (13:30 ワークファンルーム)			オンライン歴史教室(芝富士小学校) (10:45 郷土資料館)		3	木
4	金						4	金
5	土				オンライン歴史教室(元郷南小学校) (10:50 郷土資料館)		5	土
6	日						6	日
7	月						7	月
8	火	次世代支援・教育力向上特別委員会 (13:30 議場)	市民大学「タブレット講座」① (10:00 神根公民館)		旧田中家住宅の桃の節供～雛人形の展示公開～ (9:30 旧田中家住宅)		8	火
9	水		市民大学「科学館ガイドツアー」③ (14:00 科学館)		オンライン歴史教室(在家小学校) (11:10 郷土資料館)		9	水
10	木						10	木
11	金	建国記念の日					11	金
12	土						12	土
13	日						13	日
14	月	第7回南部教育長会議・教育長協議会 (14:00 県浦和合同庁舎)		本庁舎ギャラリー 利用受付開始 (アートギャラリー・アトリア)			14	月
15	火		市民大学「タブレット講座」② (10:00 神根公民館) 市民大学「遠野の民話語り」①(13:30 前川公民館)		オンライン歴史教室(中居小学校) (10:45 郷土資料館) オンライン歴史教室(上青木小学校)(14:00 郷土資料館)	新郷図書館図書特別整理期間(休館)(～18日)	15	火

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。

令和4年

2月行事予定表

日	曜日	教育総務課	生涯学習課	文化推進室	文化財課	中央図書館	日	曜日
16	水		市民大学「遠野の民話語り」② (13:30 前川公民館) 市民大学「科学館ガイドツアー」④(14:00 科学館)				16	水
17	木	教育委員会定例会 (13:30 ワークファンルーム)	市民大学「遠野の民話語り」③ (13:30 前川公民館)		オンライン歴史教室(里小学校) (10:45 郷土資料館)		17	木
18	金		市民大学「遠野の民話語り」④ (13:30 前川公民館)		旧田中家住宅耐震補強検討会議 (18:00 文化財センター)		18	金
19	土						19	土
20	日				企画展関連講座「代官伊奈忠治と赤山陣屋」 (13:30 郷土資料館)		20	日
21	月						21	月
22	火				歴史教室(新郷南小学校) (9:30 郷土資料館)		22	火
23	水	天皇誕生日					23	水
24	木		市民大学「タブレット講座」③ (10:00 神根公民館)				24	木
25	金						25	金
26	土				古文書中級講座「読み解く古文書」(~27日) (13:00 文化財センター)		26	土
27	日						27	日
28	月						28	月

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。

令和 4 年

2 月 行事予定表

日	曜日	科学館	スポーツ課	日	曜日
1	火			1	火
2	水			2	水
3	木	川口あけぼの幼稚園 (10:30 科学展示室・プラネタリウム)		3	木
4	金	講師派遣 (10:40 東本郷小学校)		4	金
5	土			5	土
6	日	特別イベント「アオナノニライト」 (10:30 科学展示室) 特別イベント「ストロボライト」(14:30 科学展示室)		6	日
7	月			7	月
8	火			8	火
9	水			9	水
10	木	松原幼稚園 (11:00 プラネタリウム)		10	木
11	金			11	金
12	土			12	土
13	日			13	日
14	月			14	月
15	火	久喜市立桜田小学校 (9:30 科学展示室)		15	火

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。

令和4年

2月行事予定表

日	曜日	科学館	スポーツ課	日	曜日
16	水			16	水
17	木	東川口幼稚園 (10:30 科学展示室・プラネタリウム) 科学出張教室(14:45 元郷南小学校)		17	木
18	金	野田市立岩木小学校 (13:30 科学展示室)		18	金
19	土			19	土
20	日	いきいきサイエンス (10:30 科学展示室)		20	日
21	月			21	月
22	火	休館日(館内整理日)		22	火
23	水			23	水
24	木	川口幼稚園(10:30 科学展示室) 野田市立二ツ塚小学校 (13:30 科学展示室)		24	木
25	金	彩の実保育園 (10:00 科学展示室・プラネタリウム)		25	金
26	土			26	土
27	日			27	日
28	月			28	月

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。

令和4年

2

月

行事予定表

日	曜日	庶務課	学務課	指導課	学校保健課	市立高等学校	日	曜日
1	火			研究委嘱発表(十二月田小学校) (他校教員はオンライン参加)	学校給食献立委員会 (元郷学校給食センター調理小学校) (15:30 元郷学校給食センター会議室)		1	火
2	水			研究委嘱発表(在家小学校) (他校教員はオンライン参加)	学校給食献立委員会 (新郷・南平学校給食センター調理小学校) (15:30 第二庁舎地階第1会議室)		2	水
3	木				学校給食献立委員会 (元郷学校給食センター調理中学校) (15:30 元郷学校給食センター会議室)	学校評議員会 (14:00 市立高等学校)	3	木
4	金				学校給食献立委員会 (新郷・南平学校給食センター、自校調理中学校) (15:30 第二庁舎地階第2会議室)		4	金
5	土						5	土
6	日						6	日
7	月						7	月
8	火		第9回月例校長連絡会 (10:00 教育研究所)				8	火
9	水			研究委嘱発表(辻小学校) (他校教員はオンライン参加)	学校給食献立委員会(自校調理小学校) (15:30 第二庁舎地階第1会議室)		9	水
10	木			川口市立小・中学校中堅教諭等資質向上研修閉講式 (9:00 オンライン) 課題研究本発表会(13:30 オンライン)		高校入試願書受付 (9:00 市立高等学校)	10	木
11	金						11	金
12	土						12	土
13	日						13	日
14	月					高校入試願書受付 (9:00 市立高等学校)	14	月
15	火			研究委嘱発表(朝日西小学校) (他校教員はオンライン参加)	学校保健事務説明会 (13:30 市立高等学校)	高校入試願書受付 (9:00 市立高等学校) 定時制学年末考査(17:25 市立高等学校)	15	火

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。

令和4年

2月行事予定表

日	曜日	庶務課	学務課	指導課	学校保健課	市立高等学校	日	曜日
16	水		第8回市立学校長会議 (10:00 オンライン)	研究委嘱発表(領家小学校) (他校教員はオンライン参加)		定時制学年末考査 (17:25 市立高等学校)	16	水
17	木					高校入試志願変更受付 (9:00 市立高等学校) 定時制学年末考査(17:25 市立高等学校)	17	木
18	金					高校入試志願変更受付 (9:00 市立高等学校) 定時制学年末考査(17:25 市立高等学校)	18	金
19	土						19	土
20	日						20	日
21	月						21	月
22	火					定時制生徒臨時休業	22	火
23	水						23	水
24	木				学校給食食品等選定委員会 (14:00 南平学校給食センター会議室)	全日制・定時制生徒臨時休業(~3月1日) 高校入試学力検査 (8:45 市立高等学校)	24	木
25	金					高校入試面接 (8:45 市立高等学校)	25	金
26	土						26	土
27	日						27	日
28	月					高校入試採点 (8:30 市立高等学校)	28	月

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。

## 1 2月市議会定例会の概要について

川 口 市 教 育 委 員 会



令和3年12月市議会定例会 一般質問質疑応答概要		(教育総務課)
<p>&lt;質問概要&gt;</p> <p>関 由紀夫 議員 (公明)</p> <p>1 教育行政について</p> <p>(1) 小学校体育館への空調機の早期設置について</p> <p>(要望)</p> <p>小学生の保護者からの強い要望もあることから、早期設置をお願いしたい。</p>	<p>&lt;答弁概要&gt;</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 体育館への空調機設置については、夏季の部活動などで体育館の利用頻度が高く、空調機を有効活用できることを考慮し、中学校26校に令和4年の夏季までの稼働を目指して設置を進めているところである。</p> <p>小学校52校の体育館に空調機を設置することについては、財源の確保が大きな課題であることから、国の補助制度について研究するとともに、中学校における使用状況や経費などについて検証し、それを踏まえて検討していきたいと考えている。</p>	
<p>福森 悦子 議員 (公明)</p> <p>4 教育について</p> <p>(1) 副教育長の設置について</p> <p>・更に川口市の教育行政を円滑に進めるために副教育長を設置してはどうか。</p>	<p>(教育総務部長)</p> <p>A 本市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育長と教育委員4名により組織されており、事務局は、教育総務部と学校教育部の2部体制としている。教育行政の執行にあたっては、川口市教育大綱および川口市教育振興基本計画に基づき、2部が相互に連携を図りながら、</p>	

<p>益田 みなみ 議員（自民）</p> <p>5 地域の課題について</p> <p>(1) 戸塚中学校のテニスコートについて</p> <p>・老朽化の激しいテニスコートの改修について</p>	<p>組織的に取り組んでおり、学力向上や文化・スポーツの振興などに努めているところである。</p> <p>議員提案の副教育長については、中核市では部体制としていない自治体で設置されている場合もあるが、本市においては、現在の2部体制を維持し、今後も教育行政を組織的に推進していきたいと考えている。</p> <p>（教育総務部長）</p> <p>A 戸塚中学校のテニスコートについては、人工芝の傷んでいる箇所などに部分的な修繕を適宜行っているところであるが、経年劣化が進んでいることから、全面的な改修が必要であると認識している。</p> <p>こうしたことから、今後、学校及び関係部局と調整を図りながら、計画的な改修に向けて検討していきたいと考えている。</p>
--	---

令和3年12月市議会定例会 一般質問質疑応答概要		(生涯学習課)
<p>&lt;質問概要&gt;</p> <p>金子 幸弘 議員 (共産)</p> <p>2 主権者たる市民が考え、選択し、責任を負う住民が主人公の川口市に</p> <p>(2) 主権者教育について</p> <p>ア 公民館での主権者教育の実施について</p> <p>(再質問)</p> <p>2 (2)アについて、利用団体の代表者等を対象とした研修や講座を、主権者教育の一つと捉え実施しているとのことだが、日本国憲法、教育基本法についてどれだけ取り上げてきたのか。</p>	<p>&lt;答弁概要&gt;</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 公民館は、市民の皆様の自発的、主体的な生涯学習活動を支援するとともに、多種多様な講座、教室等を実施し、学習機会の提供に努めているところである。</p> <p>こうした中、公民館では、地域課題の解決や人権意識の高揚などを主権者教育の一つと捉え、利用団体の代表者等を対象とした研修や講座を主催し、実施しているところである。</p> <p>今後についても、地域の人材を活用した教育活動や体験活動などの充実を図るとともに、他の自治体における主権者教育の実施事例などについて、調査、研究していきたいと考えている。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 公民館の利用団体の代表者等への研修・講座において、これまでに日本国憲法や教育基本法については取り扱っていない。</p>	

<p>青山 聖子 議員（自民）</p> <p>2 安心して過ごせる放課後の居場所づくりについて</p> <p>(2) 放課後子供教室について</p> <p>ア 開設校を増やすための取り組みと課題</p> <p>イ 実施内容の拡充</p> <p>6 西川口地区の公民館と図書館の複合施設について</p> <p>(1) 集いの場となるフリースペースの確保を</p>	<p>（教育総務部長）</p> <p>A 放課後子供教室の推進については、平成21年度から実施し、現在、市内小学校52校中、28校で開設しているところである。</p> <p>こうした中、放課後子供教室を実施するための場所や事業を担っていく地域団体等の確保が課題となっていることから、全校開設までには時間を要している。</p> <p>現在、開設校を増やすために、未開設の学校を訪問して放課後子供教室の趣旨を説明するとともに、地域団体や事業者等と事業への協力について調整を図りながら、全校開設に向けた取り組みを進めているところである。</p> <p>（教育総務部長）</p> <p>A 放課後子供教室の実施内容については、地域団体等の協力を得て、子供たちが心豊かで健やかに育まれるよう、文化活動やスポーツ活動等、多様な学習機会を提供しているところである。</p> <p>議員指摘の開催日数を拡充するにあたっては、予算やスタッフの確保が必要となることから、今後、関係部局や地域団体等と協議を図っていきたいと考えている。</p> <p>（教育総務部長）</p> <p>A 新たに建設する公民館と図書館の複合施設については、「楽しみ・学び・つながることができる場」を施設コンセプトに、現在実施設計を進めているところである。</p>
--	--

<p>(3) 災害に備えたエネルギー源の分散化を</p> <p>井上 薫 議員 (共産)</p> <p>1 財政力を活かし福祉の増進を</p> <p>(3) 市内の公民館施設と生涯学習環境の充実を</p> <p>ア すべての公民館に社会教育主事の配置を</p>	<p>集いの場となるフリースペースについては、公民館の3階共用スペースなど、イベントの開催等において利用しやすい環境となるよう配慮し、広く地域の皆様が利用できる施設づくりに努めていきたいと考えている。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 災害対応バルクについては、合わせて発電機を設置することにより、災害時に電源が確保されるなど、有効なものと認識しているが、新たに建設する公民館と図書館の複合施設への導入については、施設の配置上、設置場所の確保が難しかったことから見送ったものである。</p> <p>しかしながら、議員指摘の災害に備えたエネルギー源の分散化にあたっては、当該施設の実施設計において、電気や都市ガスのほか、料理実習室の調理台の一部にLPガスを導入することを計画しているところである。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 本市教育委員会では、社会教育法の規定に基づき、教育委員会事務局内の生涯学習課に、現在6名の社会教育主事を配置し、公民館職員と連携を図りながら、地域ニーズをとらえた公民館事業等を企画・実施しているところである。</p> <p>今後についても、さらに連携を密にし、職員研修や情報提供を積極的に行うなど、公民館事業のさらなる充実を図ると共に、市民の皆様が、自主的・自発的な生涯学習活動を行</p>
--	--

<p>イ 戸塚地区に公民館の新設を</p>	<p>うための環境醸成などの支援を行っていき たいと考えている。</p> <p>(市長)</p> <p>A 本市では、現在36館の公民館等生涯学 習施設を設置しており、市民の皆さんの生涯 学習活動の場として、また、町会等、地域の 団体の活動拠点として、多くの方々にご利用 いただいているところである。</p> <p>そうした中、本市公共施設の配置や総量の 適正化などについては、「川口市公共施設等 総合管理計画」に基づいて方針を決定してい るが、現時点では、戸塚地区において、戸塚 公民館及び戸塚西公民館に続く新たな公民 館を設置する計画はないところである。</p> <p>しかしながら、両公民館が曜日や時間帯に おいては、混雑していて、希望どおりに利用 できないとの地域の皆さんの利用ニーズも あることから、私は、現在建設中である(仮 称)東川口駅前行政センターの会議室を、公 民館で行われている生涯学習活動にも利用 いただけるよう、担当部局に指示したところ である。</p> <p>今後、(仮称)東川口駅前行政センターの 利用が可能となるので、その利用状況並び に、両公民館あわせた現在の使用率が平均4 9.2%であり、50%に至っていないとい う戸塚地区の公民館の利用状況を勘案し、時 間帯もあるが、(仮称)東川口駅前行政セン ターを使用することによってどのように変 化がおこるかを見極めたうえで、公民館の新 設の必要性について検討していく考えであ るので、ご理解いただきたい。</p>
-----------------------	--

<p>ウ すべての公民館にW i - F i の設置を</p>	<p>(教育総務部長)</p> <p>A 公民館にW i - F i 設備を設置することについては、初期費用やランニングコストに多額の費用を要することが大きな課題である。</p> <p>また、公民館は様々な生涯学習活動に利用いただく施設であるが、日常的にW i - F i 設備が必要な状況とは言えないことから現時点で、すべての公民館に設置することは難しいものと考えている。</p>
---------------------------------	---

令和3年12月市議会定例会 一般質問質疑応答概要 <span style="float: right;">(文化推進室)</span>	
<p>&lt;質問概要&gt;</p> <p>杉本 佳代 議員 (自民)</p> <p>1 本市の劇場・音楽堂について</p> <p>(1) 既存施設改修などして劇場・音楽堂等に利用する構想について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設を改修などして劇場・音楽堂等に利用することができないか。</li> </ul> <p>(2) 川口市の劇場・音楽堂の今後の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音響効果を備えた100～200席ほどの公的劇場・音楽堂の整備を検討する必要があるのではないか。</li> </ul>	<p>&lt;答弁概要&gt;</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 議員指摘の、生声生演奏に適した音響効果を生み出す空間を実現するためには、建物の構造自体がそれに対応していなければならないと認識している。</p> <p>既存施設の改修では、十分な天井高を確保するなど、建物の構造を変更することには様々な支障や制約があることから、劇場・音楽堂等に利用することは難しいものと考えている。</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 本市における音響効果を備えた施設は、総合文化センター・リリアのメインホール及び音楽ホール、南平文化会館がある。そのほか、本格的なコンサートなどに利用されるホールと比べ、音響効果は十分ではないが、芝市民ホール、鳩ヶ谷駅市民センター、公民館の視聴覚ホールなども、音楽に利用いただいているところである。</p> <p>こうした中、市内の音楽団体からは、新たな音楽ホールを望む声もいただいていることから、議員指摘の音響効果を備えた公的劇場・音楽堂については、その必要性を含め、今後、検討していきたいと考えている。</p>



令和3年12月市議会定例会 一般質問質疑応答概要 <span style="float: right;">(中央図書館)</span>	
<p>&lt;質問概要&gt;</p> <p>青山 聖子 議員 (自民)</p> <p>6 西川口地区の公民館と図書館の複合施設について</p> <p>(2) 快適に利用できる図書館に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい横曽根図書館を快適に利用できる図書館にしてほしい</li> </ul>	<p>&lt;答弁概要&gt;</p> <p>(市長)</p> <p>A 図書館は、本市の生涯学習活動を支援する拠点のひとつとして、小さなお子さんから高齢者まで、幅広い世代の市民の皆さんに利用いただいていることから、誰もが快適に利用できる施設とすることが重要であると考えている。</p> <p>新しい横曽根図書館においても、近年の少子高齢化やグローバル化などの社会情勢の変化を考慮し、市民の皆さんの利用ニーズに的確に対応できるよう、実施設計を進めているところである。</p> <p>施設の特徴としては、書架の配置を1階部分のみとし、高さを低く設定することで、見通しを確保するとともに、通路幅を広くとるなど、バリアフリーとする。また、子どもコーナーには授乳室と子ども用トイレを設置し、子育て世代の方でも、親子で安心して利用いただける施設を目指す。さらに、案内看板は多言語表記とするなど、誰もが利用しやすいよう、ユニバーサルデザインを取り入れる予定である。</p> <p>私は、「川口市教育大綱」の基本理念である「一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさをそなえた人材を育てる川口の教育」の実現のため、市民の皆さんにこれまで以上に安心、快適に利用いただける図書館となるよう、施設整備を進めていく考えである。</p>

令和3年12月市議会定例会 一般質問質疑応答概要 <span style="float: right;">(スポーツ課)</span>	
<p>&lt;質問概要&gt;</p> <p>碓 康雄 議員 (新風)</p> <p>1 新設される県の屋内50m水泳場について</p> <p>(3) 青木町公園総合運動場の50mプールについて</p> <p>・青木町公園総合運動場プールの市の考えについて</p>	<p>&lt;答弁概要&gt;</p> <p>(教育総務部長)</p> <p>A 青木町公園総合運動場プールは、これまでに2度の国民体育大会及び全国高等学校総合体育大会が開催されたほか、各種市民大会の会場として、また、夏季開所期間の一般公開においては、多くの市民の皆様にご利用されているところである。</p> <p>こうしたことから、同施設は、本市水泳の振興及び競技力の向上、さらには、市民の健康・体力づくりに大いに寄与するものと認識していることから、今後も引き続き管理・運営していきたいと考えている。</p>

令和3年12月市議会定例会 一般質問質疑応答概要 <span style="float: right;">(庶務課)</span>	
<p>&lt;質問概要&gt;</p> <p>塩田 和久 議員 (青嵐)</p> <p>10 学校施設内駐車場使用料の徴収について</p> <p>(要望)</p> <p>県内では川口市以外では2市しか徴収していない。県内の多くの自治体と同じ条件にしていきたい。</p>	<p>&lt;答弁概要&gt;</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 議員指摘のとおり、教職員の学校施設における駐車料については、徴収していない自治体が多数であること、また、無料化の要望があることは認識している。</p> <p>しかしながら、本市では「市有施設への職員等の通勤等による自家用自動車の駐車に関する基本方針」に基づき、その適正な管理や市民感情の観点から、平成22年1月より駐車料を徴収している。</p> <p>この為、現在のところ無料化する予定はないことから、理解をいただきたい。</p>

令和3年12月市議会定例会 一般質問質疑応答概要		(学務課)
<p>&lt;質問概要&gt;</p> <p>福森 悦子 議員 (公明)</p> <p>4 教育について (5) 放課後児童クラブの長期休暇時 等における開室時間について</p> <p>青山 聖子 議員 (自民)</p> <p>2 安心して過ごせる放課後の居場 所づくりについて (1) 放課後児童クラブについて ア 利用料の応能負担と減免対象の 拡大</p>	<p>&lt;答弁概要&gt;</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 本市放課後児童クラブは、これまで待機児童を出すことなく運営している。また、開室時間については、平成29年度に18時30分から19時までの延長時間を設け、保護者の就労状況の変化に合わせ、利便性の向上を図ってきた。</p> <p>開室時間の更なる拡大については、それに伴う支援員の確保や運営に係る経費、就学期の児童への負担等、様々な視点から慎重に検討する必要がある。</p> <p>このことから、現在の開室時間外の支援については、関係部署と連携するとともに、他自治体の運営方法等を参考とするなど、今後も調査研究していく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 利用料については、平成8年度の改定以降は変更せず、平成29年度に閉室時間の延長に伴う料金設定を設けることにとどめ、要件を満たした多くの方にご利用いただけるよう、利便性の向上に努めてきた。</p> <p>一方、就労人口の増加等に伴い、現在も利用児童数は増加傾向が続いており、運営経費</p>	

<p>イ 委託事業者への第三者による評価</p>	<p>も同様である。</p> <p>こうした中、利用料の設定方法や減免範囲等については、多角的な視点からの検討が必要である。</p> <p>このことから、今後も事業全体の整備を進める中において、国等の動向に注視するとともに、他自治体の取り組み等も参考とするなど、調査研究していく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 委託事業者の経営状況等については、3年ごとの委託先を選定する際、入札指名業者の財務諸表や従業員数、運営に係る必要経費、従業員への就労意欲向上策等を本市職員により確認している。</p> <p>また、契約後は仕様に基づき、支援員の配置や勤務状況の報告等、雇用の安定性の確認にも努めている。</p> <p>第三者評価の実施は、委託事業者の更なる健全性の担保に加え、放課後児童クラブ事業の質の向上にも繋がる一方、事業者の負担増等を考慮する必要がある。</p> <p>こうしたことから、実施に伴う効果や影響等も含め、今後も調査研究していく。</p>
<p>ウ 35人学級実施にともなうクラブ室の確保策</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 今年度の本市放課後児童クラブは、35人学級の実施に伴うクラブ室の普通教室への転用等はなく、これまでと同様の運営が可能となっている。</p> <p>しかしながら、来年度以降にクラブ室の調整が想定される学校もあり、現在、検討が必要な学校との協議やプレハブの建設等を実施し、クラブ室の確保に努めているところである。</p> <p>今後も、各学校の児童数を注視しつつ、本</p>

<p>井上 薫 議員（共産）</p> <p>2 児童・生徒、保護者の願いに寄り添った教育を</p> <p>(1) 小中学校の少人数学級の早期実現に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校ともに35人学級を早期に実現させていく取り組み</li> </ul>	<p>事業の安定した運営のため、関係部署及び学校と連携を図るとともに、生活や遊びの場として相応しい環境が整うクラブ室の整備に、積極的に努めていく。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 小中学校の35人学級の早期実現に向け、本市独自で実施することは、財源や人材の確保等に課題があることから難しいと考えている。</p> <p>今後も、小学校においては国の方針に則った段階的な35人学級の実現に向け、県教育委員会や大学等の関係機関と連携を密に図り、計画的に教員の確保等の準備を進めていく。また、中学校における35人学級については、国や県の動向を注視していく。</p>
---	---

令和3年12月市議会定例会 一般質問質疑応答概要		(指導課)
<p>&lt;質問概要&gt;</p> <p>若谷 正巳 議員 (自民)</p> <p>10 通学路における防犯カメラの設置について</p> <p>(1) 防犯カメラの設置場所や設置台数について</p>	<p>&lt;答弁概要&gt;</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 通学路への防犯カメラ設置については、犯罪への抑止力とともに、子ども達にとっての安全安心な環境整備への一助になるものと認識している。</p> <p>議員質問の現在計画中の防犯カメラの設置場所や設置台数については、設置を要望していた該当小学校長とともに現地調査を実施した。</p> <p>そうした中、既存の防犯カメラの設置状況や現在の通学路の状況等を踏まえ、設置要望のあった60箇所から47箇所に精査し、具体的な設置場所の確認をしたところである。</p>	
<p>関 由紀夫 議員 (公明)</p> <p>1 教育行政について</p> <p>(2) G I G Aスクール端末を活用した授業及びオンライン授業の取り組みについて</p> <p>ア 今日までの取り組み状況について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A G I G Aスクール端末の活用に関わる取り組み状況については、緊急事態宣言下において、児童生徒の学びを止めないよう、自宅で学校の授業を受けられるオンライン授業に取り組んできた。</p> <p>また、通常授業においては、児童生徒一人一人が自らの課題の解決に向けて端末を効</p>	

<p>イ 今後の課題について</p>	<p>果的に活用しながら、意欲的に学習に取り組む授業が行われている。更には、ワード等で作成したデータをグループなどで共有し、協働的に編集する機能を使用することで、多様な考え方を参考にしながら学習内容を深める授業等にも活用しているところである。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 今後の課題については、議員指摘の内容に加え、相手を傷つけてしまう書き込みや個人情報及びパスワードを他の児童生徒に教えてしまう問題等が考えられる。</p> <p>このことから、インターネット環境における情報モラル教育を更に充実させることが重要であると考え、事例研究を含めた情報モラル研修を実施し、指導の徹底を図っている。</p>
<p>ウ 不登校の児童・生徒のためのオンライン授業の取り組みについて</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A GIGAスクール端末を活用したオンライン授業は、不登校児童・生徒への学習支援となり、授業参加につながる有効な手段の一つであると認識している。</p> <p>各学校においては、不登校児童・生徒の実態に応じながら、ライブ配信によるオンライン授業を実施しており、その中で、児童・生徒がオンライン授業の視聴を通して、少しずつ学習活動に参加できるようになった事例もある。</p> <p>今後も、不登校児童・生徒や保護者の希望を尊重した上で、実態に応じた望ましいオンラインによる学習支援の充実が図られるよう、学校訪問や研修会を通して指導・助言していく。</p>



<p>エ リモート社会科見学の取り組みについて</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A G I G Aスクール端末を活用し、学校と校外の施設をつなぐリモート社会科見学を行うことは、コロナ禍においても安全であるとともに、児童生徒の興味関心を高める有効な手立てであると認識している。</p> <p>現在、市内の学校において、オンラインにより施設見学や担当者へのインタビューを行う活動や、企業で実施しているバーチャル見学を活用し、児童生徒の主体的な学習につなげるといった実践の報告を受けている。</p> <p>今後、学校訪問や社会科に関わる研修会等の機会を通じて、リモート社会科見学の効果的な取り組み等の情報提供を行うとともに指導の充実につなげていく。</p>
<p>(3) 不登校児童・生徒のための学校内の居場所づくりについて</p> <p>ア 居場所づくりの現状について</p> <p>(要望)</p> <p>外部評価報告書では目標値と実績値の乖離が年々拡大しており、思うような成果があがっていないのが実態ではないか。今後、さらに充実した取り組みが図られるよう強く要望する。</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 学校内の居場所づくりについては、登校時間や活動内容を生徒自身が決定し、個に応じた学習支援や教育相談等を行うことで、実際に登校復帰に繋がった学校がある。このような取り組みをはじめ、各学校においては、教室はもちろんのこと、相談室及び教室復帰を目指すために設置しているステップルーム等にて個別指導するなど、状況に応じて教室以外の施設も積極的に活用し、対応しているところである。</p>

<p>イ 今後の課題について</p> <p>(再質問)</p> <p>1 (3)イについて、教職員の負担増があるとのことだが、マンパワー不足をどのように改善するのか。また、個別に対応する教室がない学校についてはどのように改善するのか。</p> <p>(要望)</p> <p>居場所づくりに特化したマンパワーの確保について是非検討をして欲しい。</p> <p>(4) 外国人の児童・生徒を指導する教員の育成と研修について</p> <p>ア 研修の内容について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 各学校においては、一人一人の実態を捉え、児童・生徒や保護者の意向に寄り添った対応に努めている。課題としては、本来授業の準備をする時間などを個別の対応に充てることによる教職員の負担の増加をはじめ学校によっては個別に対応するための教室が不足しているという現状がある。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 1点目については、中学校は教科担任制であることから、空き時間の教員で分担をし、計画を立てながら組織的に対応しているところである。人的確保については今後の研究課題として取り組んでいく。2点目については、現在はGIGAスクール端末を活用し学習保障を行っているが、校内における居場所づくりについては各学校と協議を行いながら、各学校の実情に応じた場所の確保に努めていく。</p> <p>(教育長)</p> <p>A 日本語を専門に指導する日本語指導教員に対しては、経験年数に応じて、授業研究や日本語能力の測定方法等、専門性と指導力の向上を目的とした研修を実施している。また、担任等の教員も外国人児童・生徒の受入れや、支援を組織的に行う必要があるため、「やさしい日本語」の活用や異文化理解など、基礎的な指導ができる力を育成する研修</p>
--	--



<p>金子 幸弘 議員（共産）</p> <p>2 主権者たる市民が考え、選択し、責任を負う住民が主人公の川口市に</p> <p>(2) 主権者教育について</p> <p>イ 主権者教育と生徒会活動の在り方について</p> <p>3 ひとりひとりの命が大切にされる川口市に</p> <p>(1) 川口市内に肢体不自由の特別支援学校設置を</p>	<p>今後は、鉄砲百合を縁とした2市の児童生徒の交流活動について、調査・研究をしていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 生徒会活動は、学習指導要領の目標において、「自主的、実践的に取り組む」とされ、義務教育段階で主権者としての意義や経験を学べる大変重要な教育活動であると認識している。</p> <p>このことから、さらに必要性が高まるであろう主権者教育を一層推進するために、今後も全生徒が主体的に取り組む生徒会活動が行われるよう、各学校に働きかけていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 本市に肢体不自由の特別支援学校が設置されることは、通学における利便性が増すとともに、児童生徒の負担軽減にもつながると認識している。</p> <p>特別支援学校については、その所管が県教育委員会にあることから、本市としては、特別支援教育に関する協議会等での情報交換の場面で、継続的に県教育委員会への働きかけを行っていく。</p>
---	--

<p>塩田 和久 議員（青嵐）</p> <p>9 義務教育における学力向上について</p> <p>(1) 全国学力・学習状況調査結果の分析及びその指導について</p> <p>ア 今年度の調査結果の分析について</p> <p>イ つまづきの傾向について</p> <p>ウ 指導方法の改善について</p>	<p>（学校教育部長）</p> <p>A 今年度の全国学力・学習状況調査の調査結果については、小学校では、国語科において全国正答率を上回り、算数科においては、全国正答率とほぼ同等であった。</p> <p>中学校では、国語科・数学科共に全国正答率に若干届かない結果であったが、これまで実施してきた調査結果と比べ、全国との差はかなり縮まっている。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 今年度の調査結果によると、国語科では、説明的文章を読み、分かったことをまとめる問題につまづきの傾向がある。</p> <p>また、算数・数学科では、図形の面積を求める際に必要な情報を選び出す問題につまづきの傾向がある。</p> <p>これらのことから、本市の児童生徒の課題は、目的や意図に応じて、文章と図表などを結びつけながら、必要な情報を選び出す力を育成することと捉えている。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 指導方法の改善については、各学校において、児童生徒が得られた知識・技能を活用し、課題解決を図ること。また、話し合い活動を中心とした言語活動を工夫し、必要な情報を選び出す力を育成する授業となるよう、学校訪問や教科等の研修会を通し、指導・助言に努めていく。</p>
--	---

<p>(2) 埼玉県学力・学習状況調査結果の分析及びその指導について</p> <p>ア 今年度の調査結果の分析について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 今年度の埼玉県学力・学習状況調査の調査結果については、国語科・英語科において、調査を実施した全ての学年で県正答率を上回っており、学習内容が概ね定着していると捉えている。</p> <p>また、算数・数学科では、実施した学年によっては県正答率とほぼ同等もしくは若干届いていないことから、児童生徒一人ひとりの学力の伸び等を適切に把握し、指導法の改善が必要であると認識している。</p>
<p>イ 子ども一人ひとりの学力を確実に伸ばす手立てについて</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 全ての児童生徒の学力を確実に伸ばすためには、児童生徒一人ひとりの学習課題や理解度に応じたきめ細やかな指導・支援を充実していくことが重要であると考えている。</p> <p>このことから、各学校においては、調査結果から児童生徒一人ひとりの学力の伸び等を適切に把握することで、個に応じた指導を実施しているところである。</p> <p>また、GIGAスクール端末を活用した個別最適な学びを推進することで、児童生徒一人ひとりを確実に伸ばす授業が実践されるよう、学校訪問等で指導・助言に努めている。</p>
<p>(3) 小学校低学年基礎学力定着度調査結果の分析及びその指導について</p> <p>ア 今年度の調査結果の分析及び課題と傾向について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 今年度の小学校低学年基礎学力定着度調査結果については、国語・算数ともに、2年生では平均正答率が9割弱程度、3年生では8割弱程度となっている。</p> <p>課題としては、3年生の国語においては、事柄の順序に沿って簡単な文章を書く力を問う問題、算数においては、計算の答えから</p>

<p>イ つまづきとみられる割合とその 具体的指導について</p> <p>(要望)</p> <p>国語、算数あわせて正答率が8割に 満たない児童が2、3年生全体の約 26%という調査結果をもとにして、 つまづきが見られる児童の解消に向 け、更に取り組むよう要望する。</p> <p>碓 康雄 議員 (新風)</p> <p>4 いじめ問題について</p> <p>(1) 元生徒への謝罪について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この度の一連の件を踏まえ、当該生 徒に謝罪はしたのか</li> </ul> <p>(2) 元生徒の卒業証書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業証書は渡したのか</li> </ul>	<p>式を導き出すといった思考力を問う問題を 苦手とする傾向がある。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 調査結果において、国語、算数あわせて 正答率8割に満たない児童が、2、3年生全 体で約26パーセントおり、その児童のつま づきを解消することが課題であると捉えて いる。</p> <p>具体的な指導については、各学校におい て、調査結果を踏まえ課題解決に向けた学力 向上プランを作成、活用するとともに、学校 訪問の際には、具体的なつまづきのポイント を示しながら、授業の改善に対する指導を行 っているところである。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 議員質問の件については、本事案が係争 中であるため答弁は控える。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 卒業証書は校長が渡すものであるが、現 時点では授与できていない。</p>
---	--

<p>(3) 訂正しない決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訂正ではなく、修正とした条例上の根拠は何か</li> </ul> <p>(4) 新たな訴訟について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川口市教育委員会が、新たに起こされている訴訟について、どのような訴訟か、事実関係を教えてほしい</li> </ul> <p>(再質問)</p> <p>4 (1) について、どうして謝罪しないのか。教育委員会や教員はウソをついてよいのか。</p> <p>係争中を理由に答弁しないことは丁寧な対応との考えか。</p> <p>4 (2) について、卒業証書の授与について、県の教育委員会から助言、指導、または、何らかの働きかけがあったのか。あった場合は、日にちと内容を聞かせてほしい。</p> <p>杉本 佳代 議員 (自民)</p> <p>1 本市の劇場・音楽堂について</p> <p>(3) 教育の場で実演芸術に触れる機会を作ることについて</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 議員質問の件については、本事案が係争中であるため答弁は控える。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 議員質問の件については、本事案が係争中であるため答弁は控える。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 議員質問の件については、本事案が係争中であるため答弁は控える。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 個人情報保護に関する事務の取り扱いについては、慎重かつ丁寧な対応に努めているところである。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 令和3年10月11日を含め、卒業証書の授与について適切に対応するよう、県教育委員会から働きかけがあった。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 現在、文化芸術への関心を高め、豊かな情操を養うことをねらいとし、小学校高学年で「音楽鑑賞教室」「芸術鑑賞教室」を実施している。</p>
--	--



<p>福森 悦子 議員 (公明)</p> <p>4 教育について</p> <p>(2) ヤングケアラーの実態把握について</p> <p>(4) 地域と連携した通学路の安全点検実施の状況について</p> <p>ア 現状について</p>	<p>また、小学校においては、地域人材や中学校の吹奏楽部を招いて、生の歌や演奏に触れる機会を設けている学校がある。</p> <p>今後についても、そのような実践を音楽主任会等で周知し、良質な実演芸術に触れる機会の充実を図るとともに、豊かな心を持った次代を担う児童生徒の育成に努めていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 議員指摘の通り、悩みを持った子どもたちに寄り添い支援していくためには、確実な実態把握を行うことは重要と認識している。</p> <p>現在、担当課と連携しつつ、教職員を対象とした人権教育研修等を通し、ヤングケアラーについての理解促進に努めているところである。</p> <p>今後については、悩みを持った子どもたちを見逃すことなく、手厚い支援を行えるよう担当課の要請のもとに実態調査の準備を進めていく。</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 通学路の安全点検については、各学校において、毎年、教職員が保護者や地域と連携して行う定期点検や登下校時の見守り活動と共に行う日常点検を実施している。</p> <p>また、本年度の安全点検において各学校から報告があった箇所については、警察及び関係部局に通学路の安全対策に基づいた環境整備について依頼するとともに、子どもの安全確保に努めているところである。</p>
--	--

<p>イ 保護者、見守り活動者、地域住民との連携について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 今回の通学路の安全点検の結果については、各学校において、教職員が中心となり、保護者と連携して得た情報を反映させたものである。</p> <p>また、見守り活動者や地域住民との連携により、安全点検を実施した学校もある。</p> <p>今後については、既に各学校で実施している学校運営協議会等において、通学路の安全点検の結果について共有が図られるよう、市立学校長会議等で働きかけていく。</p>
<p>(6) 特別支援教育について</p> <p>ア 特別支援学級の早期全校設置について</p>	<p>(教育長)</p> <p>A 市内の特別支援学級の設置については、令和3年度は、小学校8校に特別支援学級を設置した。次年度も新たに、小学校4校・中学校2校に特別支援学級を設置する予定である。</p> <p>今後も引き続き、対象児童生徒数、通学距離、学校施設などの状況を考慮するとともに、適正規模、適正配置を目指し、全小中学校への設置も含め、計画的かつ積極的に設置を進めていく。</p>
<p>イ 特別支援教育の理解促進を目指した取り組みについて</p>	<p>(教育長)</p> <p>A 児童生徒一人一人の能力を伸ばすために、すべての教員が特別支援教育への理解を深めることは大変重要であると認識している。</p> <p>そこで、今年度より、2つの研修会を新設した。1つ目としては、特別支援教育の理解促進を目的とした特別支援教育理解研修会を全6回実施している。2つ目としては、特別支援学級新設校及び新設予定校を訪問し、基礎的な理解促進を図る特別支援学級新設校対象研修会を実施している。</p>

<p>青山 聖子 議員（自民）</p> <p>4 外国にルーツを持つ児童生徒への支援について</p> <p>(1) 年度途中の編入学など実情に合わせた指導体制の工夫</p> <p>(2) 教育研究所の日本語教室における対象者変更の効果</p>	<p>今後も、特別支援教育の理解促進に向けて、研修の充実に努めていく。</p> <p>（教育長）</p> <p>A 編入学によって指導人数が増加した場合、各学校では、個々の日本語の習得状況を考慮した上で、個別指導とグループ指導の時間を調整したり、グループ指導の人数を変更したりし、指導体制を随時工夫して対応している。</p> <p>今後も年度内における指導人数の変動は想定されることから、効果的な指導体制について、学校訪問等を通じて指導・助言し、実情に応じたきめ細やかな日本語指導が各学校で行われるよう努めていく。</p> <p>（教育長）</p> <p>A 対象者を変更した効果については、主に3つ挙げられる。1つ目は、対象者が、日本語が全く通じないことへの不安がない状態で日本語を集中して学ぶことができること。2つ目は、日本語とともに日本の学校生活についても指導するため、20日間の通室後には学校生活にスムーズに適応できること。3つ目は、学校は、通室期間中に当該児童生徒に対する受け入れ体制を整えることができることである。</p> <p>対象者を変更したことによって、初めて日本で生活をする外国籍児童生徒と学校、双方にとってよい効果が現れているところである。</p>
---	---

<p>(3) 発達に遅れや問題が見られる場合の支援体制</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 外国にルーツを持つ児童生徒が、言葉や発達に課題があると思われる場合、双方の課題を解消するための支援を適切に行う必要があると認識している。現在、支援が必要な児童生徒に対しては、学校と連携しながら、学校巡回教育相談の活用、就学相談においては、発達検査や体験授業を行い、課題を適切に見極め、その子に必要な教育的支援の場につなげているところである。</p> <p>また、特別支援学級に在籍する外国にルーツを持つ児童生徒については、各校において、言語の指導のみならず、一人一人に応じた支援の充実に努めているところである。</p>
<p>井上 薫 議員 (共産)</p>	
<p>2 児童・生徒、保護者の願いに寄り添った教育を</p>	<p>(学校教育部長)</p>
<p>(2) 特別支援学校高等部を市内で新設を</p>	<p>A 川口市内に特別支援学校高等部を設置することは、生徒・保護者の利便性の向上及びインクルーシブ教育のさらなる推進に繋がるものと考えている。</p> <p>特別支援学校高等部の設置については、県が特別支援教育環境整備計画に基づき、進めているところである。このことから、今後も県教育委員会に必要な情報提供に努めるとともに、県の動向を注視していく。</p>
<p>(3) 特別支援学級の全校配置に向けて</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 市内の特別支援学級の設置については、令和3年度において、小学校8校に特別支援学級を設置した。次年度も新たに、小学校4校、中学校2校に特別支援学級を設置する予定である。</p>

<p>益田 みなみ 議員（自民）</p> <p>3 空手道を教育に取り入れることについて</p> <p>(1) 市立中学校の体育授業における空手道の導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入に向けた考えと共に、実技講習会等の指導者研修会参加の働きかけとその効果についても聞きたい</li> </ul> <p>(2) 川口市立高等学校に空手部を創設することについて</p>	<p>引き続き、適正規模、適正配置を目指し、全校設置も含め、計画的に設置を進めていく。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 空手道の導入については、学習指導要領における取扱いや、高等学校の教育課程へのスムーズな接続などから、課題もある。しかしながら、議員指摘の通り、空手道には、安心して学習できる要素が多く、有意義な種目であると認識している。</p> <p>また、毎年働きかけをしている国の指導者研修会については、参加者が増加していない現状にあるので、引き続き参加を促すとともに、市内で継続して空手道の授業を実施している学校の事例を参考にしながら、市立中学校への更なる周知に努めていく。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 川口市スポーツ協会に加盟している空手道連盟には、43の所属団体がある。今年開催された東京オリンピックでは、空手競技に注目が集まり、益々普及されていく競技と認識しているところである。</p> <p>現在、川口市立高等学校全日制では、計42の部活動がアリーナ棟をはじめ、各施設において活動に励んでいるところである。</p> <p>空手部の創設については、部活動の顧問となる教員や指導者、そして活動場所の確保等も必要となることから課題もあり、現段階での創設は難しい状況ではあるが、今後は高等学校に対し、学校全体の部活動の在り方につ</p>
---	--

	<p>いて継続的に検証するよう、働きかけていく。</p>
--	------------------------------

令和3年12月市議会定例会 一般質問質疑応答概要		(学校保健課)
<p>&lt;質問概要&gt;</p> <p>金子 幸弘 議員 (共産)</p> <p>4 ジェンダー平等の川口市へ (3) 学校のトイレに生理用品の配置を</p>	<p>&lt;答弁概要&gt;</p> <p>(学校教育部長)</p> <p>A 市立学校における生理用品の配布については、令和3年4月、災害備蓄品を活用し各校へ配布したところである。</p> <p>今後も、トイレへの配置を含め、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、また配布を糸口として、児童生徒が学校へ相談しやすい環境がつけられるよう、継続的な配備を検討していく。</p>	
<p>福森 悦子 議員 (公明)</p> <p>4 教育について (3) 小中学校及び市立高校への継続的な生理用品の配備について</p>	<p>(学校教育部長)</p> <p>A 市立小中学校及び市立高校における生理用品の配布については、児童生徒の背景にある様々な事情を配慮する必要があると考えている。また、支援が必要な児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、配布を糸口として、相談できる環境づくりも大切であると認識している。</p> <p>保健室へ行きづらい児童生徒に配慮したトイレへの配置を含め、継続的な支援ができるよう前向きに検討していく。</p>	

<p>井上 薫 議員（共産）</p> <p>1 財政力を活かし福祉の増進を (2) 学校給食費の無償化を</p> <p>2 児童・生徒、保護者の願いに寄り添った教育を (4) 小中学校全校に栄養士の配置を</p>	<p>（学校教育部長）</p> <p>A 既に学校給食の無償化を実施している自治体があることは承知している。しかしながら、本市で無償化を実施するためには、概算で毎年度19億円の財源が恒久的に必要となる見込みであり、現状では無償化は難しいものと認識している。</p> <p>なお、学校給食費の支払いについて相談があった場合には、必要に応じて就学援助制度や生活保護制度を紹介するなど、福祉的な観点を持ちながら対応に努めているところである。</p> <p>（学校教育部長）</p> <p>A 栄養士の配置については、県が定める基準に基づき配置をしている。本市では平成31年度から、自校調理校29校全校に栄養士を配置し、センター配送校49校については、今年度は9名の栄養士が巡回を行っている。</p> <p>議員指摘の、食育の推進や食物アレルギーへの対応など、学校栄養職員の役割が益々大きくなっていることは認識している。</p> <p>このことから、本市としては、国・県及び関係機関に対し、引き続き基準の拡大について、要望していきたいと考えている。</p>
--	--



# 環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和3年12月市議会定例会)

学校教育部 庶務課

質 疑	応 答
<p>議案第125号 令和3年度川口市一般会計補正予算（第7号）</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算補正の内</p> <p>△ 歳出の部</p> <p>第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第7目</p>	
<p>&lt; 質 疑 &gt;</p> <p>(榊原 秀忠 委員)</p> <p>小学校運営費及び学校ICT整備事業に関わり、35人学級への移行や、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備は、国の方針に従って整備するものであるのか、国に費用負担を求めるべきと考えるが、補助制度等の確認は行っているのか。</p> <p>(榊原 秀忠 委員)</p> <p>35人学級に伴う備品等の整備及び、特別支援学級として備品等を整備する学校数及び教室数は、どの程度を予定しているのか。</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>35人学級への移行に向けた環境整備については、埼玉県に補助制度の有無を確認したところ、教室整備等の工事であれば、従来の補助制度で対応できるとのことだが、今回計上している備品整備には対応していないことを確認している。</p> <p>また、GIGAスクール構想に係る環境整備については、昨年度は、公立学校情報通信ネットワーク環境整備費補助金の補助があったが、その後の整備に対する補助制度はない。</p> <p>(庶務課長)</p> <p>35人学級では22校26教室、特別支援学級は4校8教室の備品等の整備を予定している。</p>

質 疑	応 答
<p>(榊原 秀忠 委員)</p> <p>学級数の増に伴い、整備する備品類は具体的にどのようなものか。</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>教育用器具費として、教員用の机、教卓、椅子、更衣ロッカーを、教材備品購入費として、教室用のテレビ、テレビ台、ブルーレイディスクプレーヤー、G I G Aスクール端末用充電保管庫の整備を予定している。</p>
<p>(木岡 たかし 委員)</p> <p>小学校運営費及び学校 I C T整備事業に関わり、今回の補正予算では教材等の整備は含まれていないようであるが、教材等についてはどのように整備するのか。</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>教材等の整備については、令和4年度当初予算に計上されることとなる。</p>
<p>(木岡 たかし 委員)</p> <p>小学校費の学校 I C T整備事業に関わり、G I G Aスクール構想の実現に向けた環境整備は、昨年度整備したものと同等の整備を行うのか。</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>学校 I C T整備事業による整備内容は、各教室にLANの配線、無線アクセスポイントを設置するとともに、G I G Aスクール端末を保管する充電保管庫を設置するものであり、昨年度整備した内容と同様の整備を行うものである。</p>
<p>(木岡 たかし 委員)</p> <p>小学校運営費及び中学校運営費に関わり、感染症対策及び学習保障の予算について、1校当たりの配分額はいくらになり、使途はどのように決めるのか。</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>小中学校は、児童生徒数1～300人で上限額45万円から既交付額の40万円を差し引いた5万円の2倍の額で10万円、同じく301～500人では67万5千円から60万円を差し引いた7万</p>

質 疑	応 答
<p>(井上 薫 委員)</p> <p>小学校運営費等に関わり、感染症対策に係る予算については、令和3年度の当初予算でも計上しているが、今回の補正予算は、当初予算が不足したことによる対応なのか。</p>	<p>5千円の2倍の額で15万円、501人以上では、90万円から80万円を差し引いた10万円の2倍の額の20万円となっている。</p> <p>本予算は消耗品費を対象とし、感染症対策及び学習保障として、消毒薬やパーテーション、オンライン授業等に活用するウェブカメラやマイク等の購入を想定しているが、各学校に配当して執行することから、学校長の判断によることとなる。</p> <p>(庶務課長)</p> <p>今回の補正予算は、国において新型コロナウイルス感染症対策として、補助金を追加するとの通知があったことから対応するものであり、当初予算が不足したことによる対応ではない。</p>
<p>(井上 薫 委員)</p> <p>小学校運営費等に関わり、感染症対策及び学習保障に伴う経費について、小・中・高等学校といった校種により、対応が異なることはないのか。</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>児童生徒数により配当額が異なるなどの違いはあるが、使途については同じものである。</p>
<p>(柳田 力 委員)</p> <p>小学校運営費、中学校運営費、中学校夜間学級運営費、附属中学校運営費、高等学校運営費に関わり、感染症対策及び児童生徒の学びの保障を推進する</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>「学校保健特別対策事業費補助金交付要綱」の規定に基づく「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業実施要領」の改定による追加額に応じて増額</p>

質 疑	応 答
<p>ための消耗品費との説明であるが、積算根拠を説明 いただきたい。</p> <p>(柳田 力 委員)</p> <p>「感染症対策・学習保障等に係る支援事業費補助 金」の対象事業費の内訳はどのようになっているの か。</p> <p>(大関 修克 委員)</p> <p>35人学級の実施及び特別支援学級の新設のた めに、教室改修が必要となる学校は何校あるのか。</p> <p>(大関 修克 委員)</p> <p>空き教室での対応ができない学校はどこか。ま た、どのように対応するのか。さらに、令和4年度 に特別支援学級が設置される小学校はどこか。</p>	<p>するもので、各学校の児童生徒数に応じた1校当た りの補助上限額に応じ、追加額の2倍の額を積算し ている。</p> <p>但し、中学校夜間学級運営費は、芝西中学校陽春 分校は芝西中学校を1校として補助することから、 生徒数で案分したものである。</p> <p>また、附属中学校運営費は、上限額の90万円か ら既に配当済みである38万2千円を差し引いた 51万8千円となっている。</p> <p>(庶務課長)</p> <p>2項 小学校費の消耗品費910万円、3項 中学 校費の消耗品費501万8千円、4項 高等学校費 の消耗品費30万円の合計1,441万8千円とな っている。</p> <p>(庶務課長)</p> <p>小学校52校中、51校は空き教室等の活用によ り、対応が可能であると聞いている。</p> <p>(庶務課長)</p> <p>空き教室での対応ができない学校は、木曾呂小学 校で、特別教室を改修して対応すると聞いている。</p> <p>また、特別支援学級が設置される小学校は、新郷 小学校、領家小学校、芝富士小学校、慈林小学校の</p>

質 疑	応 答
<p>(木岡 たかし 委員)</p> <p>35人学級や特別支援学級のために特別教室を転用するというのは如何なものか。特別教室を転用しなければならない学校はどのくらいあるのか。</p>	<p>4校で8教室が整備される予定である。</p> <p>(庶務課長)</p> <p>実際にどの学校が特別教室を転用するのか、具体的に決まっていないが、教室の不足が見込まれる学校は、令和4年度が1教室、5年度から7年度が2教室、8年度が1教室と想定されているものの、児童数は推計に基づくものであるため、具体的な対応は決まっていない。</p>
<p>(木岡 たかし 委員)</p> <p>35人学級や特別支援学級の教室整備に当たり、特別教室を改修して対応するとのことであるが、特別教室も必要があるので設置されているものであり、改修にあたっては配慮をお願いします。(要望)</p>	
<p>(石橋 俊伸 委員)</p> <p>学校ICT整備事業について、今回の整備はどのような内容なのか。</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>今回の補正予算では、35人学級編成に伴う教室整備22校26教室分、及び特別支援学級の新設に伴う4校8教室分、合計34教室分の整備に必要な費用を計上したものである。</p> <p>その内訳は、無線アクセスポイント、LAN配線及びスイッチングハブ7台分の整備費として修繕料を1,064万9千円、GIGAスクール端末用充電保管庫を34台分として、教材備品購入費968万7千円を計上したものである。</p>

質 疑	応 答
<p>(石橋 俊伸 委員)</p> <p>G I G Aスクール構想に基づく I C T環境の整備はしっかり進めていくよう要望する。(要望)</p> <p>(大関 修克 委員)</p> <p>令和4年度には特別支援学級は何校に設置されるのか。</p> <p>(大関 修克 委員)</p> <p>特別支援学級を全小・中学校に整備するよう要望する。(要望)</p> <p>&lt; 討 論 &gt;</p> <p>(木岡 たかし 委員)</p> <p>3 5 人学級や特別支援学級の整備に係る費用の計上に当たっては、設備面の整備だけでなく、教室の手配についても、特別教室を転用するだけではない対応を要望する。また、教員の確保においては、産休代替教員の確保も厳しい状況と聞いている。今後、増員の必要があることは明らかであるので、しっかりと対応していただくよう要望し賛成する。</p> <p>&lt; 採 決 &gt;</p> <p>起立者全員にて可決。</p>	<p>(庶務課長)</p> <p>小学校3 4校、中学校1 5校に特別支援学級が設置されることとなる。</p>

# 環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和3年12月市議会定例会)

学校教育部 学務課

質 疑	応 答
<p>議案第125号 令和3年度川口市一般会計補正予算（第7号）</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算補正の内</p> <p>△ 歳出の部</p> <p>第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第7目</p>	
<p>&lt; 質 疑 &gt;</p> <p>(大関 修克 委員)</p> <p>35人学級の実施に伴う各種整備を行う中、特別支援学級も増設していくのか。</p> <p>(石橋 俊伸 委員)</p> <p>35人学級の実施に関連し、教職員数の推移はどのようなになっているか。</p> <p>(石橋 俊伸 委員)</p> <p>35人学級の実施や特別支援学級の増設等を踏まえ、今後の教職員数の見込みは。</p>	<p>(学務課長)</p> <p>特別支援学級については、35人学級の実施とは別に、特別支援教育の充実を図る目的から指導課において計画的に増設しているものである。</p> <p>(学務課長)</p> <p>毎年5月1日現在の過去3年間の状況だが、小学校は、令和元年度は1,517人、2年度は1,524人、3年度は1,540人であり、中学校は、令和元年度は837人、2年度は844人、3年度は857人である。</p> <p>(学務課長)</p> <p>現時点であるが、令和7年度の完了時まで概ね100人増を見込んでいる。</p>

質 疑	応 答
<p>(石橋 俊伸 委員)</p> <p>教職員確保の具体的な検討策は。</p>	<p>(学務課長)</p> <p>県費による教職員は、引き続き埼玉県教育委員会と連携するとともに、教員免許の取得できる大学との綿密な連絡や市ホームページにて募集を周知するなど、様々な方法で教員の確保に努めていく。</p>
<p>(石橋 俊伸 委員)</p> <p>引き続き、教員の確保に努めてもらいたい。</p> <p>(要望)</p>	
<p>(大関 修克 委員)</p> <p>100人増の見込みということだが、教職員の確保について、現在の考えは。</p>	<p>(学務課長)</p> <p>本採用及び臨時的任用教職員については、県教育委員会に働きかけ調整を図っていくとともに、臨時的任用教職員については、市独自にも説明会や面接を実施し、登録者数の確保に努めていく。</p>
<p>(大関 修克 委員)</p> <p>教職員の質の確保は、市独自による確保策の有無も含めどのような方策を実施しているのか。</p>	<p>(学務課長)</p> <p>新規採用教職員については、県において初任者研修が実施されているほか、臨時的任用職員に対しては、市においても独自に研修を実施している。また、他の教職員についても、年次に合わせた研修や教育課程の内容に応じた研修等を実施し、質の向上に努めている。</p>



質 疑	応 答
<p data-bbox="217 365 403 398">&lt; 討 論 &gt;</p> <p data-bbox="217 434 284 468">なし。</p> <p data-bbox="217 573 403 607">&lt; 採 決 &gt;</p> <p data-bbox="217 642 467 676">起立者全員にて可決。</p>	

# 環境経済文教常任委員会質疑応答概要

(令和3年12月市議会定例会)

学校教育部 川口市立高等学校

質 疑	応 答
<p>議案第125号 令和3年度川口市一般会計補正予算(第7号)</p> <p>第1条第1表 歳入歳出予算補正の内</p> <p>△ 歳出の部</p> <p>第10款 教育費</p> <p>△ 歳入の部</p> <p>第16款 国庫支出金 第2項 国庫補助金 第7目</p>	
<p>&lt; 質 疑 &gt;</p> <p>なし。</p> <p>&lt; 討 論 &gt;</p> <p>なし。</p> <p>&lt; 採 決 &gt;</p> <p>起立者全員にて可決。</p>	